

JA全厚連情報

(毎月 1 日 発行)

No.1123 2023 年 1 月 1 日

目 次

- 年頭所感 1
全国厚生農業協同組合連合会 代表理事会長 山野 徹
- 厚生事業にかかる要請活動について報告 3
厚生連部課長会議を開催
- 管理会計の応用について研修 4
厚生連経営管理職層育成研修会（応用編第2クール）をWEB開催
- JA全厚連令和5年度事業計画（素案）等について協議 5
事業企画委員会 医療事業部門を開催
- 患者が医療に期待すること等について研修 6
第33回厚生連病院長セミナー・全国厚生連病院長会第28回通常総会
- JA全厚連から提出された団体要望の対応状況等について意見交換 7
農民の健康を創る会 総会を開催

・通信員だより

- 「オンライン診療」の導入に向けて（湖東厚生病院） 9
- あなたを悩ませる困った症状について「第61回農村における健康を考える集い」（JA秋田厚生連） 10
- JA福島ビル職域接種（4回目）を実施（JA福島厚生連） 11
- 『やさしい医学解説』デジタルブック化へ（JA茨城県厚生連） 12
- 世界糖尿病デーin 相模原協同病院 2022 を開催（相模原協同病院） 13
- 施設周辺の清掃活動を実施（介護老人保健施設ほほえみの丘） 15
- 防災訓練を実施（介護老人保健施設ほほえみの丘） 16
- 焼き芋レクリエーションを開催（介護老人保健施設ほほえみの丘） 17
- 第9回「つなげる、やさしさ。」健診・人間ドック体験記コンクールを開催します（JA山梨厚生連） 18
- JA関連医療機関への「救急・リハビリ医療にかかる助成」目録贈呈式（JA長野厚生連） 19
- 医療対策について県へ要請（JA静岡厚生連） 20
- 産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞（JA静岡厚生連遠州病院） 21
- 永年勤続者表彰式を行いました（JA愛知厚生連） 22
- 3年ぶり開催！小学生向け「防災キャンプ」にDMAT講師を派遣しました（海南病院） 23
- 組合員の健康づくりを支援する動画配信スタートしました（JA愛知厚生連） 24
- 災害対策研修会を開催（JA三重厚生連） 25
- がん市民公開講座を開催（JA三重厚生連） 26



©よい食プロジェクト

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@ja-zenkouren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.ja-zenkouren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠



年 頭 所 感

全国厚生農業協同組合連合会

代表理事会長 山野 徹



令和5年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

J A組合員ならびに地域住民の皆様方には、日頃より J A厚生事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、継続して発生する変異株への対応や季節性インフルエンザとの同時流行の可能性が極めて高いとの分析もあり、収束はいまだ見通せない状況であります。

J A厚生連では、これまでも新型コロナウイルス感染症に取り組んでおり、多くの厚生連病院が重点医療機関や協力医療機関等の指定を受け、コロナ患者を受け入れてまいりました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種では、各自治体や J Aグループからの要請に応え、病院・健診施設等で積極的にワクチン接種を実施しております。

さらに、医療提供体制が逼迫していた大阪府・沖縄県・東京都に対しては国から看護師派遣要請を受け、9 厚生連 38 名の看護師派遣を実施しました。

新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化する中で、全国の医療機関で働く医療従事者の方々等におかれましては、感染予防対策、コロナ患者の受入対応等で、大変な状況が続いているかと存じます。日々奮闘する皆様のご労苦に心より敬意を表しますとともに、同感染症の一刻も早い収束を願っております。

なお、コロナ禍やウクライナ情勢の影響による円安・原油価格の高騰により電気・ガスなどの光熱費や医療材料、食材費等の高騰が続いております。国が

定める診療報酬制度（公定価格）により経営を行う医療機関や介護施設等は、物価高騰による費用増加分を価格に転嫁することができないため、病院の収支に直接影響しております。

原油価格・物価高騰の影響は、医療業界の問題だけでなく、他の産業にも大きく影響が広がっておりますが、コロナ禍で疲弊している病院にとって大きな負担となっていることから、地域の医療提供体制に支障がでないよう国からの一層の財政支援を期待しております。

令和5年においては、新型コロナウイルス感染症への対応だけでなく、令和6年度に施行される第8次医療計画や医師の働き方改革への対応、さらには医療DX（オンライン資格確認・電子処方箋・サイバーセキュリティ）への取り組みが大きな課題になると考えておりますが、そのような中においても、JA厚生連が質の高い事業を実施し、JA組合員や地域住民が安心して保健・医療・高齢者福祉サービスを受けられ健康に暮らすことができるよう、JA厚生連役員一丸となって取り組んでまいります。

皆様方におかれましても、JA厚生事業へのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

厚生事業にかかる要請活動について報告

厚生連部課長会議を開催

本会は、令和4年11月18日に、東京・大手町のTKP東京駅大手町カンファレンスセンターにおいて、厚生連部課長会議をWEB併催した。

会議では、(1) 子会社(株)コーケンにかかる報告、(2) 厚生事業にかかる要請活動、(3) 日本郵政共済組合における人間ドック業務にかかる連携、(4) 厚生連の令和4年度上半期経営収支状況、(5) 厚生連職員向け研修の充実、(6) 令和4年度早期収支改善を要する厚生連の対応状況、(7) 本会の新しい取組み(厚生連病院帳票・厚生連介護帳票)、(8) 法人税非課税措置にかかる要件管理の徹底一等について協議・報告した。

(2) に関して、本会から厚生事業にかかる要請活動の報告を行った。また、今後の対応として、「円安・原油価格の高騰等による物価高騰への対応」、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の取扱い」、「入院患者有償病床の割合の見直し」、「看護職員等の処遇改善への対応」一などについて、引き続き自民党議員連盟「農民の健康を創る会」等を通じて国へ要請等を行っていくこととした。

県厚生連からは、「入院患者有償病床の割合の見直しについて、引き続き実現に向けて対応して欲しい」との意見が述べられた。

管理会計の応用について研修

厚生連経営管理職層育成研修会（応用編第2クール）をWEB開催

本会は令和4年11月21日、22日の両日、厚生連経営管理職層育成研修会（応用編第2クール）をWEBで開催し、10厚生連から19名が参加した。

今回の応用編第2クールでは、管理会計の応用をテーマに、事前学習をふまえた基礎編の復習ののち、①財務会計と管理会計の違い、②設備投資意思決定の応用演習、③事業計画策定の重要性、④診療科別原価計算等を利用した管理会計演習—について研修を行った。

1日目は、財務会計と管理会計の違いをはじめ、設備投資意思決定の目的と必要性について研修・演習を行った。また、具体的な前提条件にもとづき設備投資の可否について、グループに分かれてディスカッションを行った。

2日目は、事業計画策定の重要性や、診療科別原価計算等の考え方について研修・演習を行った。



研修の様子

J A全厚連令和 5 年度事業計画（素案）等について協議

事業企画委員会 医療事業部門を開催

本会は令和 4 年 12 月 1 日に、東京・大手町の J Aビルにおいて、事業企画委員会（医療事業部門）をWEB併催した。

協議・報告事項として、（１）子会社㈱コーケンの破産にかかる経過と対応、医薬品等価格交渉支援スキーム（案）、（２）厚生事業にかかる要請活動、（３）改正個人情報保護法にかかる対応、（４）J A全厚連令和 5 年度事業計画（素案）一等について検討を行った。

そのうち、（４）について、サイバーセキュリティ対策への支援について、令和 5 年度の重要実施項目および令和 4 年 12 月 7 日開催の農民の健康を創る会総会の要望書に追加してほしい等の意見が出された。

患者が医療に期待すること等について研修

第 33 回厚生連病院長セミナー・全国厚生連病院長会第 28 回通常総会

本会は令和 4 年 12 月 2 日、第 33 回厚生連病院長セミナーをWEB開催し、20 厚生連から 68 名の病院長等が参加した。

当日は、「超高齢社会を支える革新的サイバニクス最前線」（山海嘉之・筑波大学 システム情報系 教授／サイバニクス研究センター 研究統括／未来社会工学開発研究センター センター長、CYBERDYNE（株）代表取締役社長・CEO）、
「患者が医療に期待すること」（山口育子・認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）の 2 講演が行なわれた。

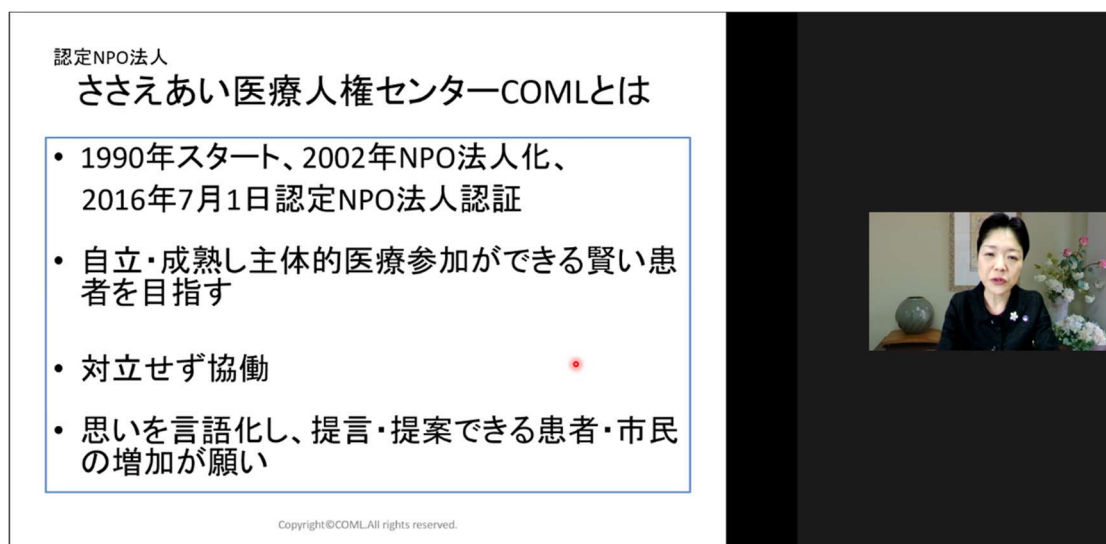
山口氏は講演で、患者への説明不足について、①患者が理解できていない、②患者と医療者の思いにズレがある、③情報のリテラシー、④医療者の態度・コミュニケーションがあるとし、これらを解消するために医療者に求められる対応について説明を行った。

セミナー終了後は全国厚生連病院長会（会長：齊藤研・平鹿総合病院長）第 28 回通常総会が行われた。

認定NPO法人
ささえあい医療人権センターCOMLとは

- 1990年スタート、2002年NPO法人化、
2016年7月1日認定NPO法人認証
- 自立・成熟し主体的医療参加ができる賢い患者を目指す
- 対立せず協働
- 思いを言語化し、提言・提案できる患者・市民の増加が願い

Copyright©COML All rights reserved.



山口氏講演の様子

J A全厚連から提出された団体要望の 対応状況等について意見交換

農民の健康を創る会 総会を開催

自由民主党の議員連盟「農民の健康を創る会」総会が、12月7日に自由民主党本部6階「603号室」で開催された。

当日は、金田勝年会長代行をはじめ、会員となっている衆・参の議員計29名が出席（本人出席29名、代理出席20名）し、厚生労働省および農林水産省からも担当者が出席した。

J Aグループからは、本会の山野徹会長、中瀬省副会長、J A全中の肱岡弘典常務らが出席した。また、日本赤十字社からは渡部洋一医療事業推進本部長が、済生会からは松原了理事が出席した。

森山裕会長が党税調と予定が重なったが、金田会長代行が挨拶を行い総会が開始。総会では、農民の健康を創る会のJ A三重厚生連 三重北医療センターいなべ総合病院への現地視察（9月28日実施）について、三ツ林裕巳事務局長から報告が行われた。

議事では、本会の中村理事長が団体要望（①円安・原油価格の高騰等による物価高騰への対応、②新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の取扱い、③医師の偏在是正および医師の働き方改革への対応、④入院患者有償病床の割合の見直し、⑤看護職員等の処遇改善への対応、⑥サイバーセキュリティ対策への支援）の説明を行った。



金田会長代行



三ツ林事務局長

厚生労働省および農林水産省からは、団体要望への対応状況について説明が行われた。

厚生労働省からは、物価高騰に関して、9月に創設されている地方創生臨時交付金について、医療を一番目のメニューに掲げたので活用願いたい旨。また、入院患者有償病床の割合の見直しに関して、農林水産省と一緒に(令和6年度)税制の方で要望を進めていきたいとの対応状況が説明された。

出席した議員のうち、務台議員、島村議員からは「有償病床数の要件の見直しについて」、中村議員、星議員からは「院内保育所の運営支援について」、宮澤議員からは「へき地の病院、診療所への補助金対応について」、島村議員、石川議員、星議員からは「エネルギー価格の高騰による物価高騰対策について」、務台議員、藤木議員からは「医師の働き方改革への対応について」、藤木議員からは「訪問介護事業の介護報酬単価の見直しについて」等の意見が出された。

また、金田会長代行からは「医師不足によって働き方改革への対応が進まず、地方の病院では、ますます医師確保が困難になるという悪循環に陥ることが非常に心配。地域医療の維持ができなくなるのではないか」との意見が出され、農民の健康を創る会での今後の重要なテーマとして議論されることとなった。



農民の健康を創る会総会の様子



「オンライン診療」の導入に向けて

(JA秋田厚生連・湖東厚生病院)

湖東厚生病院（波多野善明病院長）では、高齢者や施設入所者などの通院困難者の通院負担軽減や診察待ち時間の解消、外来の混雑緩和による職員の負担軽減を図るため、スマートフォン、タブレット端末、パソコンといった情報通信機器を用いて自宅や施設にしながら診療を受けることができる「オンライン診療」の導入に向けた取組みを進めています。

オンライン診療は、対面診療とは異なり画面上での診察になるので、生活習慣病の継続治療などの比較的病状が安定した患者さんを診察することになります。

また、オンライン診療を始めるにあたっては、患者さん側の情報通信機器の操作とオンライン診療に対する理解が必須となるため、近隣の介護施設の協力を得ながらテスト診療を幾度か実施してきました。

現在、令和4年12月の本格稼働に向け、内科診療を中心に運用体制、診療実施フロー等の整備に着手しています。

これからも「秋田県で一番、高齢者に優しい病院」を目指すとともに、今後オンライン診療を提供することによって利便性を高め、当院を利用される方々が安心して診療が受けられるよう努めてまいりたいと思います。



オンライン診療のテストを行っている波多野院長

(三浦由佳通信員)

あなたを悩ませる困った症状について 「第61回農村における健康を考える集い」

(JA秋田厚生連)

JA秋田厚生連（小野地章一・代表理事理事長）では令和4年11月3日、大仙市の大曲市民会館・小ホール（大曲中央公民館）にて「第61回農村における健康を考える集い」を3年ぶりに開催しました。この集いは、秋田県種苗交換会行事の一環として秋田県農協中央会、秋田県厚生連、一般財団法人秋田県農村医学会の主催で昭和35年から開催しており、今年は、大曲厚生医療センター（三浦雅人病院長）が担当病院となり、「あなたを悩ませる困った症状について～解決策を専門医がアドバイス～」をテーマに実施しました。

大曲厚生医療センターの5名の専門医が『日常生活の中で、なかなか治らず困ってしまう症状』について講演を行い、泌尿器科の熊澤光明氏から「夜間頻尿について」、整形外科の阿部利樹氏から「あなたを悩ます、膝・腰・肩の痛みについて」、耳鼻咽喉科の垂石羊司氏から「耳鼻咽喉科でみる病気のあれこれこんな時は耳鼻科へどうぞ!」、脳神経内科の鎌田幸子氏から「頭痛について」、眼科の高橋永幸氏から「あなたの目に迫る危険～日常生活での注意点と対策～」について最新の知見から解決策をアドバイスしていただきました。参加者にとっても身近な問題であり、正しい知識や最新治療を知る良い機会になりました。

当日は、医療関係者を中心に約160名が来場し、盛会のうちに終わることができました。ご参加いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。



「第61回農村における健康を考える集い」開催の様子

(三浦由佳通信員)

J A福島ビル職域接種（4回目）を実施

（J A福島厚生連）

J A福島厚生連（高久忠・代表理事理事長）では令和4年11月24日～26日の3日間で、福島市J A福島ビルにおいて、新型コロナウイルスワクチンの職域接種（4回目）を実施しました。

ワクチンはモデルナ社製（従来株とオミクロン株の2価ワクチン）を使用し、日程は令和4年11月24日から26日までの3日間で約520人の対象者に接種しました。



問診の様子

今回の職域接種の対象は、中央会、連合会、子会社、関連団体の職員、家族、J Aふくしま未来、J A夢みなみの職員など計26団体。福島市のJ A福島ビルで24日は午後、25日は1日、26日は午前中で実施しました。J A福島厚生連で医療スタッフを派遣し、福島県農協会館診療所を中心に、1日に医師2名、看護師3名が参加しました。

実施期間中は医師の予診ブース及び看護師の接種ブースを2レーン体制で臨み、大きなトラブルも無く、3日間スムーズに終える事が出来ました。



接種の様子

（佐藤剛通信員）

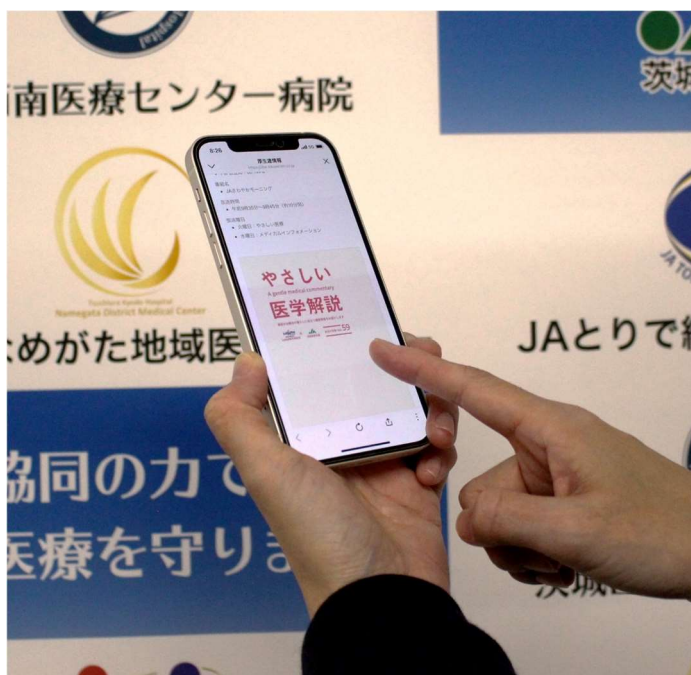
『やさしい医学解説』 デジタルブック化へ

(J A 茨城県厚生連)

J A 茨城県厚生連 (酒井義法・代表理事理事長) では、疾病の内容や最前線の治療について、医療従事者がわかりやすく解説した冊子『やさしい医学解説』を毎年発行しています。これは、L u c k y F M 茨城放送 (F M 水戸局 94.6MHz、AM 水戸局 1197kHz、土浦・県西 1458kHz) の朝の番組「H A P P Y パンチ」内の、J A グループ茨城の提供によるコーナー「J A さわやかモーニング」の中で、本会が担当している「やさしい医療」及び「メディカルインフォメーション」の内容をまとめたものです。

今回、本会ホームページに最新号及びバックナンバーを公開し、スマートフォンやP C 上での閲覧を可能としました。

放送当時のものをそのまま掲載していますので、特に古いバックナンバーについては内容が現在と若干異なる点もありますが、家庭の医学書として気軽に読んでいただき、みなさまの健康管理に少しでも役に立つことができれば幸いです。



デジタルブック化された『やさしい医学解説』



QR サイトアクセス

(酒井一彦通信員)

世界糖尿病デーin 相模原協同病院 2022 を開催

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

令和4年11月12日に相模原協同病院（井關治和病院長）は、糖尿病ケアチーム主催による「世界糖尿病デーin 相模原協同病院 2022」を開催しました。11月14日は世界糖尿病デーとされていて、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

相模原協同病院・糖尿病ケアチームでも、「世界糖尿病デー」にちなんで、一般の方を対象に糖尿病の正しい知識を知ってもらえるよう無料イベントを開催しました。当日は身長・体重測定、身体機能測定（握力、2ステップテスト）、フットチェック、看護師、薬剤師、管理栄養士による糖尿病療養相談が行われました。メインイベントとしては、糖尿病・代謝・内分泌内科部長の山口医師による「眠っているカラダを起こそう！」という講演で簡単に出来る体操を参加者のみなさんと一緒に行いました。参加者の方の一生懸命取り組んでいる姿に関心の高さが伺えました。また、糖尿病療養相談では糖尿病ケアチームが、個々のさまざまな相談に、丁寧にアドバイスをされている様子が伺えました。

参加された方々からは「糖尿病の正しい知識が身につきました」「講演内で行った体操が良かったです。これからも続けようと思います」など高い評価の感想をいただきました。



糖尿病ケアチーム



2ステップテスト



療養相談



簡単に出来る体操



歩行速度の確認



ポスター掲示

(新嶋友梨恵通信員)

施設周辺の清掃活動を実施

(J A神奈川県厚生連・介護老人保健施設ほほえみの丘)

令和4年11月15日に介護老人保健施設ほほえみの丘(蒔田知美施設長)は、いつもお世話になっている施設周辺の地域に少しでも貢献したいと思い、美化清掃を行いました。これからも地域に根ざした施設として、地域に貢献できるよう、頑張っていきます。



参加した職員



清掃の様子

(新嶋友梨恵通信員)

防災訓練を実施

(J A神奈川県厚生連・介護老人保健施設ほほえみの丘)

令和4年10月19日に介護老人保健施設ほほえみの丘(蒔田知美施設長)は、デイケアご利用の皆さんにご協力いただき、防災訓練を行いました。

避難訓練終了後、スタッフが消火器の操作説明を受け、実際に消火器の操作訓練も行いました。万が一の場合に備え、これからも定期的に訓練を実施して参ります。



訓練の様子

(新嶋友梨恵通信員)

焼き芋レクリエーションを開催

（JA神奈川県厚生連・介護老人保健施設ほほえみの丘）

令和4年11月13日、今年も介護老人保健施設ほほえみの丘（蒔田知美施設長）では、「焼き芋レクリエーション」を行いました。

さわやかな秋晴れの中、皆さんに秋の味覚を楽しんでいただきました。スタッフと利用者さんが焼いたお芋...皆さんに出来立てのアツアツ、ホクホクのお芋を召し上がっていただきました！嬉しそうな笑顔が素敵です!!



レクリエーションの様子



出来立てのお芋

（新嶋友梨恵通信員）

第9回「つなげる、やさしさ。」 健診・人間ドック体験記コンクールを開催します

(JA山梨厚生連)

“延ばそう！健康寿命”をスローガンに、JA山梨厚生連（澤井實・代表理事会長）がすすめている「つなげる、やさしさ。」プロジェクト。昨年に引き続き、第9回目となる「つなげる、やさしさ。」健診・人間ドック体験記コンクールを開催いたします。

ご自身だけでなく、ご家族や友人、知人が健診や人間ドックを受け、病気の早期発見や生活習慣の改善などにつながった体験、受診を通して感じたこと、思ったこと、伝えたいことなどをまとめた体験手記などを広く募集します。

最優秀作品賞受賞者には、全国の加盟している農協（JA）店舗の他、JGC系統指定代行店（JAギフト加盟店）や指定百貨店などでご利用いただけるJA商品券と、山梨県JAグループの特産品を贈呈します。また、ほか入賞者にも山梨県JAグループの特産品を贈呈します。

詳しくは以下WEBサイトをご覧ください。

<https://www.y-koseiren.jp/event/taikenki/4054>



(志村直樹通信員)

J A 関連医療機関への 「救急・リハビリ医療にかかる助成」 目録贈呈式

(J A 長野厚生連)

令和 4 年 11 月 15 日、全国共済農業協同組合連合会による令和 4 年度 J A 関連医療機関への救急・リハビリ医療にかかる助成の目録贈呈式を J A 共済連長野県本部において執り行われました。

この助成事業は全国共済農業協同組合連合会が社会貢献活動の一環として、交通事故被害者の救命や社会復帰支援を目的に J A 関連医療機関の救急医療機器、リハビリ器具等の購入に対し財政支援を行うものです。平成 15 年から毎年続いており、本年で 20 年目となります。

はじめに、米久保 隆 J A 共済連長野県本部長から「今も最前線で治療に当たられている職員の皆さんに、感謝と敬意を申し上げます。我々の社会貢献活動が、少しでも厚生連病院の皆様のお役に立てればと思います」と挨拶されました。

また、洞 和彦厚生連代表理事理事長は「病院経営が一段と厳しくなるなか、ご援助いただけることに感謝申し上げます。我々もこれを機に、地域医療発展のために一層頑張っていきます」とお礼の言葉を述べました。

令和 4 年度は、浅間南麓こもろ医療センター、北信総合病院、鹿教湯三才山リハビリテーションセンターの 3 事業所において、医療機器等の助成を受けました。



目録贈呈の様子(左から米久保本部長、洞代表理事理事長)

(山岸愛通信員)

医療対策について県へ要請

(J A 静岡厚生連)

J A 静岡厚生連（荒田庄治・代表理事理事長）は令和 4 年 10 月 17 日、静岡県健康福祉部長へ令和 5 年度の政策要請を行いました。

例年、県下 J A グループが行う、県知事への政策要請の一環として、厚生連からは医療対策についての要請を行っています。

今回は、リハビリテーション中伊豆温泉病院の新病院に向けた支援、医師確保に対する支援、コロナ禍での回復期病院のリスクの支援など 8 項目について要請しました。

八木敏裕健康福祉部長は「厚生連には、地域の医療・福祉に大きく貢献して頂いており、また、新型コロナウイルス感染症に対しても各病院には協力を頂いている。静岡県としても必要な地域医療を確保していくために可能な支援を行っていききたい。」と話しました。



政策要請の様子

(望月俊宏通信員)

産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞

(J A 静岡厚生連遠州病院)

J A 静岡厚生連遠州病院 (大石 強病院長) は産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、産科医療関係者の意識の高揚と、産科医療の一層の充実強化を目的として厚生労働省が実施しており、長年にわたり地域の産科医療に貢献してきた個人や団体に対し、厚生労働大臣がその功績を称え行われます。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった厚生労働省での表彰式に代わり、令和4年11月24日、静岡県庁において伝達式が開催され、病院から産婦人科診療部長 鹿野共暁医師、産婦人科・小児科病棟看護長 市川ゆり香看護師が出席しました。



伝達式開催の様子

(望月俊宏通信員)

永年勤続者表彰式を行いました

(J A 愛知厚生連)

令和 4 年 11 月 22 日に 3 年ぶりとなる永年勤続者表彰式を開催しました。

J A 愛知厚生連 (宇野修二 ・ 代表理事理事長) では、勤続 10 年 ・ 20 年 ・ 30 年目にこれまでの働きへの感謝と今後の期待を込めて表彰を行っており、勤続 20 ・ 30 年目の方々には会全体の永年勤続者表彰式を開催しています。



表彰式の様子

(井桁千聡通信員)

3 年ぶり開催！小学生向け「防災キャンプ」に DMAT 講師を派遣しました

(JA 愛知厚生連・海南病院)

海南病院（奥村明彦病院長）では、令和 4 年 11 月 2 日、弥富市主催の小学生向け「防災キャンプ」に海南病院 DMAT 隊員 2 名を派遣しました。

弥富市との恒例行事ですがコロナ禍で 3 年ぶりの開催となりました。弥富市防災課や中電パワーグリッド他 2 団体が協力して 8 つの防災に関するチャレンジプログラムが行われ、参加した 2 校の小学 6 年生 36 名が防災体験を通して学びました。海南病院は、「命を守る人達について学ぼう」プログラムを担当し、2016 年に起きた熊本地震での DMAT 活動の紹介を通して DMAT や災害拠点病院の役割、災害に備えることの大切さを伝えました。



講師のDMAT隊員(看護師・調整員)



DMAT隊員の荷物はとっても重い！

(井桁千聡通信員)

組合員の健康づくりを支援する 動画配信スタートしました

(JA愛知厚生連)

JA愛知厚生連(宇野修二・代表理事理事長)では、令和4年10月よりJA組合員向けの健康に関する動画配信「こうせいテラス.NET」を開始しました。

動画は、各JAに配布された専用のQRコードから閲覧できます。配信動画は保健福祉課の保健師・管理栄養士がこれまで組合員に対し実施してきたクイズや健康体操・健康レシピから、選りすぐりの内容を配信しています。今後も定期的に新しいコンテンツを追加していきます。



12月15日現在、11本の動画を公開しています

**2022年10月より
JA愛知厚生連が
JA組合員向けに
動画配信※START!**

※動画はYoutubeではなくVimeoというプラットフォームで公開しています
(パスワード付きのものもあります。詳しくはお問い合わせください)

**組合員の健康を守る
こうせいテラス.NET**

をご覧ください!
(<https://vimeo.com/kouseiterrace>)

好きな時に
好きなだけ

健康料理や運動を
お家で気軽に

組合員様の日頃の
健康づくりや
JA健康管理活動に
お役にてください♪

視聴方法

①上のQRコードを
スマホのカメラ
で読み込む

②Vimeoのサイトで
動画のタブを
タッチする

③見たい動画の
左下の再生ボタン
▶をタッチする

▶問い合わせ先: JA愛知厚生連 保健福祉課 0561-62-3169 (平日9:00~17:25)

こうせいテラス.NET チラシ

(井桁千聡通信員)

災害対策研修会を開催

(JA三重厚生連)

JA三重厚生連（庄山隆裕・代表理事理事長）では令和4年11月29日、津市のJA三重ビルで令和4年度災害対策研修「巨大災害に備える ～医療に求められる防災・減災活動～」を開催し、各事業所へのWEB配信を併用して98名が受講しました。

三重大学大学院工学研究科 地域圏防災・減災研究センター、三重県・三重大学 みえ防災・減災センターの川口 淳・准教授を講師に迎え、日本の気象災害、地震災害、発生が危惧される南海トラフ巨大地震に関する、最新の知見を踏まえた講義を受けました。

南海トラフ巨大地震は、マグニチュード8～9級の巨大地震が今後40年以内に90%程度の確率で発生すると予測されており、最悪の被害想定では死者32万人超、建物被害240万棟、経済被害220兆円、また三重県は沿岸部を中心に甚大な津波被害が発生する、過去に経験の無い災害となることが想定されています。

講義のなかで、「災害は想定どおりには発生しない」ため、いろいろなイメージを持ち、「臨機応変に自分で対応する能力が必要」であること。そのために「プロセス」を大切にした教育・対策に重点を置くことが重要であると、医療機関における減災活動について講義を受けました。



講義の様子



災害対策研修会の様子

参加者からは、「災害に対して前向きに、最善策を作り上げたい」や「災害対策マニュアルは万全でないことを前提に準備したい」という声が聞かれ、職員がとるべき対応や事前準備、訓練について、認識を新たにする機会となりました。

(教来石信彦通信員)

がん市民公開講座を開催

(J A 三重厚生連・鈴鹿中央総合病院)

J A 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院（北村哲也病院長）では令和 4 年 12 月 10 日、鈴鹿市ふれあいセンターで第 14 回がん市民公開講座「新しい治療法“ゲノム医療”について勉強しよう」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、開催も危ぶまれましたが、感染の流行状況を踏まえ、入場者数を制限するなど対策を講じて開催することができました。

三重大学医学部附属病院 がんセンター長 腫瘍内科科長の水野 聡朗先生を講師に迎え、「がんの遺伝子情報に基づく個別化治療」と題して、がんゲノム医療に関する、最新の知見を踏まえた講演が行われました。

参加された地域住民の皆さんからは、講演終了後に「実際にゲノム医療を受けたい場合はどこに相談したらよいのか」といった質疑応答が活発に行われ、がん治療に関する関心の高さが感じられました。

来年以降も、感染状況に左右されますが、地域の皆さんに役立つイベントの開催を検討していきます。



がん市民公開講座 講演の様子

鈴鹿中央総合病院

第14回 がん市民公開講座

講演

がんの遺伝子情報に
基づく個別化治療三重大学医学部附属病院
腫瘍内科/がんセンター

水野 聡朗先生

新しい治療法
“ゲノム医療”について勉強しよう

と き

令和4年

12月10日(土)

14:00~

ところ

鈴鹿市ふれあいセンター

参加対象者

地域住民の方々

参加料

無料



主催：鈴鹿中央総合病院 後援：鈴鹿市 鈴鹿市医師会

市民公開講座チラシ

(教来石信彦通信員)